

令和3年度
部局別予算要求のポイント

令和2年11月
高山市

・各部局の要求額は、人件費、繰出金及び予備費等を含んでいません。

企 画 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	320,584	581,158	260,574	81.28

主な増減理由

- ・ 国勢調査事業の減
△ 33,000千円
- ・ ふるさと寄附推進事業の増
292,217千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 大学連携・若者によるまちづくりの推進
- ふるさと寄附の推進
- 飛騨高山ブランドの確立に向けた施策の強化

要求のポイント

() は前年度予算額

- <夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>
- <品質・価値の向上と情報発信>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <着実な計画の推進>

- 若者によるまちづくりの推進
 - 若者等活動事務所（愛称 村半）の管理運営に必要な経費を計上
 - ・ 施設の管理運営

4,900千円
(5,200千円)

- 飛騨高山ブランドの意識醸成と情報発信
 - 飛騨高山ブランドの確立を図るために必要な経費を計上
 - ・ インナーブランディング事業の推進
 - ・ 飛騨高山ブランドを支える人材の育成

33,252千円
(40,200千円)

- 移住者への支援
 - 移住促進を図るために必要な経費を計上
 - ・ 飛騨高山への移住の促進

15,701千円
(13,660千円)

○ ふるさと寄附の推進

476,437千円
(184,220千円)

ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上

総務部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,003,695	865,345	△ 138,350	△ 13.78

主な増減理由

・ 情報通信先端技術の活用に関する経費の増	35,105千円
・ 防災ラジオ無償貸与に関する経費の増	21,571千円
・ 選挙執行経費の増（衆議院議員選挙）	28,730千円
・ 選挙執行経費の減（岐阜県知事選挙）	△ 29,400千円
・ 防災行政無線中継局の取得に関する経費の増	△ 77,895千円
・ 防災行政無線中継局電源設備工事の減	△ 120,000千円

要求に関する基本方針

- 行政を取り巻く環境の変化に的確に対応できる職員の育成
- 情報通信先端技術の活用による市民サービス等の向上（デジタル化の推進）
- 安定した公共サービスが提供できる持続可能なまちづくりに向けた効率的かつ効果的な行政経営の推進
- 市民の生命・身体及び財産を災害から守るための体制整備

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<安全への備えと災害時の対応強化>
<着実な計画の推進>

- 防災訓練の実施 4,521千円
(3,870千円)

地震等を想定したな防災訓練に必要な経費を計上
・ ペット同行訓練、外国人避難者を想定した訓練の実施

- 災害対策事業の推進 150,193千円
(325,811千円)

災害の未然防止と災害発生に備えた防災体制の充実を図るために必要な経費を計上
・ 防災ラジオ普及促進
・ ライフライン保全の推進
・ 分散備蓄の推進

- 市制施行 85 周年記念式典の開催 4, 085 千円
(3, 237 千円)
式典開催に必要な経費を計上
- 行政情報の提供と広聴事業の推進 99, 565 千円
(98, 484 千円)
各種媒体による情報発信に必要な経費を計上
・ 広報たかやまの発行、FM・CATVにおける番組制作・配信
・ 暮らしの便利帳の発行
- 適正な人事管理 35, 643 千円
(35, 026 千円)
職員採用など人事管理に必要な経費を計上
- 職員の意識改革と資質向上の推進 21, 000 千円
(22, 000 千円)
職員研修や人事交流に必要な経費を計上
・ 職員の意欲の向上や適正かつ効率的な事務執行につながる研修の充実
・ 行政課題に的確に対応できる職員の育成
- 効率的かつ効果的な行政経営の推進 705 千円
(705 千円)
行政経営の推進のために必要な経費を計上
- 電子市役所の推進 422, 065 千円
(390, 896 千円)
情報システムの整備、運用に必要な経費を計上
・ 情報通信先端技術を活用した行政手続の拡充
・ AI（人工知能）やRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の活用
・ GIS（地理情報システム）機能の拡充
・ テレワークやテレビ会議の通信環境の拡充
・ セキュリティ対策の強化

財 務 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	6,298,775	6,299,784	1,009	0.02

主な増減理由

・本庁舎老朽化による工事請負費の増	51,115千円
・公有財産解体工事費の減	△19,402千円
・評価替えに伴う鑑定評価業務の減	△5,639千円

要求に関する基本方針

- 第八次総合計画の着実な推進と市長公約の実現
- 社会情勢の変化や行政課題に対応した財産管理の推進
- 公平な課税と税収納率の向上

要求のポイント

() は前年度予算額

<長期的な視点による公共サービスの提供>
<着実な計画の推進>

- 庁舎等の適正管理 491,953千円
(416,092千円)
 - 行政事務の円滑な実施に必要な経費を計上
 - ・庁舎、公用車等の維持管理
- 財産管理の適正化と効率的な運用 103,143千円
(77,959千円)
 - 公有財産の適正な管理と未利用財産の活用や処分に必要な経費を計上
 - ・市営墓地の管理
 - ・市有施設の火災保険の加入
 - ・普通財産の管理や活用、処分のための測量業務
 - ・不要建物の解体
- 公平な課税と税収納率の向上 35,219千円
(40,400千円)
 - 固定資産税等の公平・公正な賦課を行うために必要な経費を計上
 - ・字絵図書替
 - ・家屋所在地番等調査
 - ・固定資産現況調査等
 - ・土地鑑定評価

市民活動部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,247,504	1,215,288	△ 32,216	△ 2.58

主な増減理由

・結婚支援に関する経費の増	10,000千円
・生涯学習施設整備の減	△108,000千円
・サッカー競技場及び野球場整備に関する経費の増	6,446千円
・市民プール再整備に関する経費の増	20,000千円

要求に関する基本方針

- 協働のまちづくりの推進による地域コミュニティの活性化
- 学びの場の充実と学んだ成果を地域づくりに活かす生涯学習の推進
- 日々の暮らしやまちづくりに活かす文化芸術活動の推進
- スポーツが身近となる機会の創出

要求のポイント

() は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>
- <多様な主体の協働による地域コミュニティの活性化>
- <安全への備えと災害時の対応強化>

- 協働のまちづくりの推進 268,639千円
(273,300千円)

地域づくり活動及び市民活動の促進と協働の推進に必要な経費を計上

- ・まちづくり協議会の地域の課題解決に向けた取り組みへの支援
- ・市民活動団体への支援
- ・まちづくりを担う人材の育成
- ・町内会防犯灯の改修等に対する助成
- ・防犯カメラ設置に対する助成

- 男女共同参画の推進 1,106千円
(1,122千円)

第5次高山市男女共同参画基本計画の推進に必要な経費を計上

- ・講演会や講座などの開催
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進

- 交通安全の推進 4, 015千円
(5, 015千円)
- 交通安全に対する意識の醸成、交通安全対策に必要な経費を計上
- ・交通安全教室の実施
 - ・高齢運転者への安全装置設置に対する助成
- 平和に関する意識の醸成 2, 054千円
(846千円)
- 平和に対する意識の高揚を図るために必要な経費を計上
- ・高山市平和の日や平和都市宣言の啓発
- 生涯学習の推進 503, 630千円
(545, 821千円)
- 生涯学習機会の提供や生涯学習施設の維持管理に必要な経費を計上
- ・地域づくりにつながる生涯学習の推進
 - ・市民憲章、人権啓発の推進
 - ・子ども夢創造事業（科学）の実施
 - ・生涯学習施設の整備と維持管理 ほか
- 文化芸術の振興 64, 337千円
(58, 260千円)
- 文化芸術の市民生活への浸透と文化芸術の振興を図るために必要な経費を計上
- ・市民の自主的な文化芸術活動に対する支援
 - ・飛騨高山臥龍桜日本画大賞展、市美術展覧会の開催
 - ・市有美術品の活用
 - ・子ども夢創造事業（文化芸術）の実施
 - ・文化芸術鑑賞事業の実施
 - ・第4回飛騨高山文化芸術祭こだま〜れ2022の開催に向けた準備
- スポーツ活動の充実 31, 868千円
(32, 807千円)
- スポーツ機会の提供や競技力向上などに必要な経費を計上
- ・子ども夢創造事業（スポーツ）の実施
 - ・地域スポーツ、障がい者スポーツ、高齢者スポーツの推進
 - ・スポーツ少年団、スポーツ大会開催に対する支援
 - ・スポーツ指導者の養成
 - ・ねんりんピック大会開催に対する支援
 - ・東京2020オリンピックパラリンピック関連事業の実施
- スポーツ施設の整備 286, 943千円
(269, 222千円)
- スポーツ施設の整備や維持管理に必要な経費を計上
- ・スポーツ施設の整備と維持管理
 - ・サッカー競技場及び野球場整備の推進
 - ・市民プール再整備の推進
- 高地トレーニングエリアの整備と機能強化 22, 757千円
(32, 160千円)
- 高地トレーニング施設の整備や維持管理、活用のために必要な経費を計上
- ・高地トレーニング施設の整備と維持管理
 - ・トップアスリート受入れ体制の整備及び利用の促進

福祉部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	9,118,138	9,418,221	300,083	3.29
介護保険事業特別会計	9,546,988	9,858,794	311,806	3.27

主な増減理由

・総合相談支援事業の増	13,545千円
・障がい福祉サービス給付事業の増	77,700千円
・福祉医療給付事業の減	△66,935千円
・公立保育園運営事業の増	53,151千円
・児童福祉施設整備費助成事業（母子生活支援施設）の増	72,348千円
・障がい児通所支援事業の増	40,848千円
・介護人材確保事業の増	56,055千円
・保険給付費の増（介護特会）	299,100千円

要求に関する基本方針

- 住み慣れたまちに快適に安心して住み続けるための支援
- 子どもが健やかに育つ環境整備の推進
- 介護予防の推進及び安定した介護サービスを提供する体制の整備

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現>
- <安心して子育てができる環境の充実>

- 総合的な相談支援 37,369千円
(23,824千円)
 - 福祉サービス総合相談支援センターの運営に必要な経費を計上
 - ・一般相談、生活困窮者相談、障がい者（児）相談
- 低所得者への支援 590,001千円
(590,001千円)
 - 適切な生活保護制度運営に必要な経費を計上
 - ・生活保護受給者への支援

- 障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくり
 2, 214, 446千円
 (2, 135, 971千円)
 障がい福祉サービス等の提供に必要な経費を計上
 ・ 障がい福祉サービス給付
 障がい者の自立した地域生活と社会参加の促進に必要な経費を計上
 ・ 障がい者雇用に対する助成
- 子どもへの途切れのない支援体制の強化
 593, 526千円
 (475, 893千円)
 保健、福祉、教育が連携した、子どもへの支援体制に必要な経費を計上
 ・ 母子生活支援施設整備に対する助成
 ・ 障がい児通所支援事業所等への支援
- 安心して子育てができる環境の整備
 298, 701千円
 (302, 241千円)
 子どもが健やかに育つ環境づくりに必要な経費を計上
 ・ 放課後児童クラブ、つどいの広場などの運営
 ・ 子どもの遊び場や居場所づくりに対する支援
- 良好な保育環境の確保
 2, 433, 199千円
 (2, 336, 739千円)
 良好な保育環境の確保に必要な経費を計上
 ・ 私立保育園等の感染症対策への支援、公立保育園の感染症対策
 ・ 保育人材の確保の推進
 ・ 支援が必要な園児の受入れ体制の支援
- 高齢者の安全で安心した生活の支援
 431, 481千円
 (356, 767千円)
 高齢者の安全で安心な生活や生きがいつくりの支援に必要な経費を計上
 ・ 高齢者の見守りに対する支援
 ・ 高齢者世帯の屋根雪下ろしに対する助成
 ・ 介護人材の確保に対する支援
- 老人福祉施設の運営
 124, 335千円
 (109, 034千円)
 老人福祉施設の運営・維持管理に必要な経費を計上
 ・ 福祉センター等の運営
- 健全な介護保険事業の運営
 9, 249, 448千円
 (8, 942, 060千円)
 介護認定、保険料の賦課徴収、介護給付に必要な経費を計上
 ・ 介護サービス等の給付、介護認定審査会の開催
- 介護予防の推進及び包括的な支援の実施
 604, 721千円
 (600, 109千円)
 高齢者の介護予防、包括的支援体制の整備に必要な経費を計上
 ・ 要支援者等に対する介護予防・生活支援に関する事業の実施
 ・ 高齢者健康教室の開催、自主活動の支援、認知症予防施策の推進
 ・ 在宅医療と介護・福祉の連携の推進
 ・ 高齢者の権利擁護に対する支援

市民保健部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,853,838	2,111,505	257,667	13.90
国民健康保険事業 特別会計(事業)	8,843,711	8,835,896	△ 7,815	△ 0.09
国民健康保険事業 特別会計(直診)	179,358	262,715	83,357	46.48
後期高齢者医療 事業特別会計	1,327,111	1,339,437	12,326	0.93

主な増減理由

・新火葬場建設地に関する経費の増	66,995千円
・中核病院の高度医療機器整備に関する経費の増	60,000千円
・直営診療所の感染症対策経費の増	34,666千円
・感染症対策備蓄品購入費の増	4,120千円

要求に関する基本方針

- 新火葬場建設の推進
- 健康寿命の延伸
- 感染症対策の強化と地域医療体制の確保
- 国民健康保険制度の円滑な運営

要求のポイント

() は前年度予算額

〈利便性の高い都市機能とネットワークの構築〉
 〈心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現〉

- 火葬場の運営 130,225千円
(51,250千円)
 - 市営火葬場の維持管理に必要な経費を計上
 - ・火葬場の設備改修と維持管理
- 新火葬場建設の推進 67,362千円
(1,230千円)
 - 新火葬場の建設に必要な経費を計上
 - ・建設地における現況調査等の実施

○ 市民の健康意識の醸成と健康増進 599,907千円
(599,747千円)

市民の健康増進のために必要な経費を計上

- ・健康づくりの推進
- ・母子保健事業の推進
- ・健康診査、がん検診の実施
- ・予防接種の実施
- ・感染症対策の強化

○ 後期高齢者医療における保健事業の推進 55,661千円
(49,150千円)

後期高齢者の健康増進のために必要な経費を計上

- ・すこやか健診、さわやか口腔健診の実施

○ 感染症対策の強化と地域医療体制の確保 608,934千円
(454,235千円)

感染症の感染拡大防止対策の強化と地域医療体制の確保に必要な経費を計上

- ・国保診療所における感染症診療・検査体制の確保
- ・地域外来・検査センターの運営
- ・中核病院における医師の確保、高度医療機器の整備等に対する助成
- ・休日診療所の運営、24時間電話医療相談
- ・在宅当番医制、病院群輪番制、救命救急センターの運営に対する助成
- ・南高山地域における新たな診療所整備の推進

○ 国民健康保険制度の運営 8,843,711千円
(8,835,896千円)

国民健康保険事業の円滑な実施及び運営に必要な経費を計上

- ・特定健康診査など保健事業の推進

○ マイナンバーカードの普及促進 58,249千円
(58,850千円)

マイナンバー（個人番号）カードの交付及び普及促進に必要な経費を計上

- ・各種証明書のコンビニ交付の利用啓発
- ・マイナンバーカードの取得啓発

環境政策部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,460,644	1,360,066	△ 100,578	△ 6.89

主な増減理由

・五色ヶ原の森災害復旧工事の増	25,692千円
・自然公園内の山岳トイレ整備事業の減	△ 20,000千円
・ごみ焼却施設処理事業の減	△ 362,653千円
・ごみ処理施設建設事業の増	151,432千円

要求に関する基本方針

- 自然エネルギーによるまちづくりの推進
- 地球温暖化対策の推進による温室効果ガス排出の削減
- 自然と共生するまちを目指した生物多様性保全の推進
- 自然公園の適正管理による安全で快適な利用の推進
- 公害の発生防止
- ごみ処理施設の適正な維持管理
- ごみ処理施設の早期建設

要求のポイント

() は前年度予算額

<地域特性の保全、活用、創出>
<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 自然エネルギーを活用したまちづくりの推進

	21,850千円
	(18,790千円)

 - 自然エネルギー活用の普及促進に必要な経費を計上
 - ・自然エネルギー活用の普及啓発
 - ・積まマイカーの運行によるエネルギーの地産地消の促進
 - ・ペレット・薪・チップなど木質バイオマスストーブ、ボイラーの導入支援
 - ・地域主導による自然エネルギーの活用支援

- 地球温暖化対策の推進

	6,185千円
	(6,000千円)

 - 地球温暖化対策の推進に必要な経費を計上
 - ・クリーンエネルギー自動車の普及促進

- 生物多様性保全の推進 10,102千円
(9,185千円)
- 自然環境の保全や生物多様性保全の意識啓発に必要な経費を計上
- ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習
 - ・ いのちの森づくり（苗木植樹等）
 - ・ 特定外来生物の防除
- 自然公園の保全と活用 109,667千円
(116,664千円)
- 自然公園等の保全と活用を図るために必要な経費を計上
- ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の維持管理
 - ・ ジオパーク、ユネスコエコパークの推進
 - ・ 中部山岳国立公園活性化事業の推進
- 快適に暮らせる環境の整備 7,959千円
(3,485千円)
- 公害発生の防止に必要な経費を計上
- ・ 河川水質の監視、騒音・悪臭苦情にかかる調査
- 資源循環型社会の実現 1,052,171千円
(1,305,820千円)
- ごみの収集、焼却、埋立、減量化、資源化や施設の維持管理等に必要な経費を計上
- ・ 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化
 - ・ 長期修繕計画に基づくごみ焼却施設の保守点検及び修繕
- ごみ処理施設の建設 152,132千円
(700千円)
- ごみ処理施設建設に必要な経費を計上

農 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,196,878	1,158,063	△ 38,815	△ 3.24
地方卸売市場 事業特別会計	28,500	77,792	49,292	172.95

主な増減理由

・新規就農者等育成支援事業の増	13,851千円
・農業施設等整備費助成事業の減	△12,835千円
・県営土地改良事業負担金の減	△27,750千円
・繁殖牛舎整備費助成事業の増	11,867千円
・飛騨食肉センター助成事業の減	△5,584千円
・地方卸売市場建設に関する経費の増	49,292千円

要求に関する基本方針

- 活気ある第一次産業産地づくりと担い手の育成・確保
- ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり
- 地域ぐるみでの農地・施設の保全と鳥獣害防止対策の強化

要求のポイント

() は前年度予算額

<地域産業の担い手確保と生産性の向上>
<既存産業の強化と新たな産業の創出>

- 担い手の育成・確保、新たな技術の導入の推進 79,511千円
(65,660千円)

担い手の育成・確保、新たな技術の導入の推進に必要な経費を計上

- ・就農に向けた研修等への支援
- ・新規就農者等担い手に対する助成
- ・スマート農業技術の導入に対する支援

- 鳥獣害防止対策の推進 86,672千円
(85,370千円)

鳥獣による農作物への被害の防止に必要な経費を計上

- ・有害鳥獣捕獲の推進
- ・農作物被害を防止するための鳥獣被害防止柵の設置に対する助成
- ・捕獲技術者の育成・確保

○ 家畜伝染病対策の推進 11,695千円
(15,595千円)

家畜伝染病対策の推進に必要な経費を計上

- ・CSF(豚熱)及び家畜伝染病対策、畜舎防疫設備整備の強化

○ 家畜飼養頭数の増頭支援 115,240千円
(109,490千円)

家畜飼養頭数の増頭に要する経費を計上

- ・牛舎建設等に対する助成
- ・優良雌牛の確保、増頭等に対する助成
- ・次回和牛能力共進会に向けた応援団の設立準備

○ 地方卸売市場整備の推進 77,792千円
(28,500千円)

地方卸売市場整備に必要な経費を計上

- ・地方卸売市場建設の推進

林 政 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	491,624	626,023	134,399	27.34

主な増減理由

- ・ 森林境界明確化の推進及び森林整備に関する経費の増
85,200千円
- ・ 市産材の利用促進に関する経費の増
42,000千円

要求に関する基本方針

- 100年先の森林づくりに向けた森林整備の推進
- 森林整備のための森林境界明確化の推進
- 森林技術者の育成確保、新規就業者への支援
- 市産材の利用促進

要求のポイント

() は前年度予算額

- <既存産業の強化と新たな産業の創生>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>

- 森林境界明確化の推進及び森林整備
 - 森林境界の明確化の推進及び森林の整備に必要な経費を計上
 - ・ 森林境界調査事業の推進
 - ・ 森林整備の促進

177,890千円
(92,690千円)
- 林業担い手の育成・確保
 - 林業担い手の育成・確保の取り組みに必要な経費を計上
 - ・ 林業就業者への支援

5,101千円
(2,500千円)
- 市産材の利用促進
 - 市産材の利用促進を図るために必要な経費を計上
 - ・ 市産材を利用した木造建築物への助成

79,950千円
(37,950千円)

商 工 観 光 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,447,952	3,163,064	715,112	29.21
観光施設事業 特別会計	79,123	464,652	385,529	487.25

主な増減理由

・市制度資金融資預託金等の減	△148,500千円
・宮川左岸の賑わい創出施設（仮称）整備の増	123,832千円
・観光施設等整備の増	134,172千円
・乗鞍高原飛騨高山スキー場復旧整備の増	326,950千円
・新型コロナウイルス感染症経済対策の増	568,280千円

要求に関する基本方針

- 中小企業の経営の安定化のための融資事業の推進
- 地域経済構造分析を踏まえた施策の推進
- 伝統的工芸品産業等の技術の継承、後継者育成に向けた施策の推進
- 中心市街地の活性化に向けた施策の推進
- 企業誘致対策の推進
- 産業を担う人材の確保・育成
- 時代を先取りした観光地づくりの推進
- 利用者の満足度向上や安全管理のために必要な観光施設の整備
- 新型コロナウイルス感染症に対応した経済対策の実施

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

- <多様な働き方に適応した労働環境の構築>
- <地域産業の担い手確保と生産性の向上>
- <品質・価値の向上と情報発信>
- <既存産業の強化と新たな産業の創出>
- <地域循環型経済の構築>

- 中小企業等融資事業の推進 956, 790千円
(1, 212, 650千円)
 中小企業者、勤労者向けの低利融資の実施に必要な経費を計上
 - ・小口融資、経営安定特別資金融資
 - ・勤労者生活安定資金融資

- 起業家の受入環境等の整備 85, 196千円
(90, 700千円)
 起業家の育成・支援に必要な経費を計上
 - ・起業家に対する支援、創業支援資金融資
 - ・タウンマネージャーの設置、インキュベーション施設の運営

- 地域経済構造分析を踏まえた施策の推進 13, 716千円
(13, 270千円)
 官民連携による域内資金循環等の取り組み推進に必要な経費を計上
 - ・地域経済懇談会の実施
 - ・地域経済の課題解決のための調査・研究

- 地場製品の販売促進活動の推進 20, 694千円
(19, 940千円)
 地場製品等の積極的な宣伝・販路拡大に必要な経費を計上
 - ・飛騨高山展開催事業に対する支援、飛騨高山フェアinイオンの開催

- 伝統的工芸品産業等の振興 51, 086千円
(50, 375千円)
 伝統的工芸品産業等の振興、後継者育成等に必要な経費を計上
 - ・後継者育成事業、伝統的工芸品産業団体に対する支援ほか
 - ・飛騨高山の名匠認定

- 中心市街地の活性化 180, 114千円
(55, 889千円)
 にぎわいのある商業空間の形成と中心市街地の活性化に必要な経費を計上
 - ・宮川左岸の賑わい創出施設（仮称）の整備
 - ・まちづくり会社が行う中心市街地活性化事業に対する支援
 - ・商店街の空き店舗活用や景観形成に対する支援

- 企業誘致対策の推進 90, 183千円
(106, 715千円)
 企業誘致の推進に必要な経費を計上
 - ・サテライトオフィス等を活用した企業誘致活動

- 労働力確保に向けた施策の推進 186, 832千円
(168, 880千円)
 UIJターン就職する若者への支援・労働力確保に必要な経費を計上
 - ・UIJターン就職者に対する家賃・奨学金返済支援
 - ・地元就職者に対する支援

- 誘客宣伝の実施 292, 984千円
(236, 569千円)
 観光宣伝、高山祭、各種イベントなど、誘客に必要な経費を計上
 - ・広域連携誘客宣伝事業の推進
 - ・飛騨高山ウルトラマラソンの開催
 - ・観光関連団体の誘客宣伝事業等に対する助成
 - ・若者の合宿やゼミ宿泊誘致に対する助成

- 観光施設の運営 984, 594千円
(459, 513千円)
 温泉施設、キャンプ場、スキー場等の運営及び施設整備等に必要な経費を計上
 - ・観光施設の運営、整備

- 新型コロナウイルス感染症に対する経済対策 568, 280千円
(0千円)
 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の支援に必要な経費を計上

建設部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,456,652	2,911,285	454,633	18.51

主な増減理由

・旅行村線道路新設事業の増	283,000千円
・道路橋りょう維持修繕事業の増	214,070千円
・バリアフリー対策事業の増	20,000千円

要求に関する基本方針

- 高速道路網、地域間連絡道路網の整備促進による道路利用者の快適性向上
- 内環状線を構成する道路整備による中心市街地の渋滞緩和や利便性の向上
- 道路などの安全性確保と道路網の健全な維持（地域要望への対応）

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 街路事業の推進 334,461千円
(396,468千円)
 - 道路交通の円滑化を図るための街路整備に必要な経費を計上
 - ・松之木千島線

- 道路新設改良事業の推進 560,003千円
(207,990千円)
 - 道路交通の円滑化を図るための道路新設改良に必要な経費を計上
 - ・旅行村線、名張上切線、天満上岡本線 ほか

- 道路維持修繕事業の推進 678,070千円
(464,000千円)
 - 道路の安全性確保や道路網の維持に必要な経費を計上
 - ・道路修繕、側溝修繕、舗装修繕、橋りょう修繕

○ 除雪対策事業の推進 654,913千円
(659,200千円)

冬期間の交通確保を図る除雪対策に必要な経費を計上

- ・歩車道除雪委託、融雪剤購入、消融雪側溝整備、除雪車両の購入

○ 橋りょう長寿命化改良事業の推進 168,000千円
(214,000千円)

橋りょうの長寿命化に必要な経費を計上

- ・長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの長寿命化修繕の実施
(三福橋、大黒橋、見座橋 ほか)

海外戦略部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	102,874	114,060	11,186	10.87

主な増減理由

- ・ 海外誘客プロモーション事業の増
17,000千円
- ・ デンバー市姉妹都市提携60周年記念事業の減
△4,890千円

要求に関する基本方針

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた誘客プロモーションの展開
- 人、モノの交流の停滞に対応する海外への販売の促進
- 姉妹友好都市等との交流推進
- 市民の多文化共生意識の醸成

要求のポイント

() は前年度予算額

<品質・価値の向上と情報発信>
<文化芸術・スポーツ活動等による心の豊かさの創出>

- 海外への情報発信と販売強化
 - 外国人観光客の誘客促進、海外への販売促進に必要な経費を計上
 - ・ 官民協働による効果の高い誘客プロモーション事業の展開
 - ・ 職員の海外戦略派遣の実施
 - ・ ヒアリング調査及び海外市場調査の実施
 - ・ 滞在しやすい環境の整備（公衆無線LANの運営、多言語HPの作成など）
 - ・ 多言語パンフレット等の作成

77,977千円
(63,970千円)

都 市 政 策 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,085,857	1,066,894	△ 18,963	△ 1.75

主な増減理由

・ 自主運行バスの運営経費の増	24,350千円
・ 上一之町花里線無電柱化事業の工事費の減	△ 106,000千円
・ 公園の維持管理に関する経費の増	74,123千円
・ 耐震診断義務化建築物耐震化促進事業の減	△ 39,886千円

要求に関する基本方針

- 公共交通の利便性の向上
- 良好な景観の創出
- 都市公園等の快適性の向上
- 空家等の適切な管理、活用の促進

要求のポイント

() は前年度予算額

<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>
<安全への備えと災害時の対応強化>

- 公共交通の利便性の向上 29,200千円
(19,600千円)
 - のらマイカー等の利便性向上に必要な経費を計上
 - ・ 総合的な公共交通の見直しに伴う現状調査分析及び見直し検討業務委託料
 - ・ おでかけパスポート、ヤングパスポート、市民乗車パスの運用
 - 公共交通のキャッシュレス化に必要な経費を計上
 - ・ まちなみバス、のらマイカーでのさるぼぼコインの活用
 - 公共交通の事業継続のために必要な経費を計上
 - ・ 公共交通の利用促進事業の実施

- まちなかの良好な景観創出のための整備 144,000千円
(250,000千円)
 - 上一之町花里線無電柱化整備事業に必要な経費を計上
 - ・ 上一之町花里線無電柱化の推進

○ 建築物の安全性の向上	167,518千円 (214,210千円)
住宅等の耐震化促進に必要な経費を計上	
・木造住宅等の耐震診断、建築物の耐震補強に対する支援	
・ブロック塀の撤去等に対する支援	
○ 空家等対策事業の推進	6,640千円 (6,492千円)
空家等の適切な管理や活用の促進に必要な経費を計上	
・老朽空家等除却への助成	
・空家にしないための対策への支援 ほか	
○ 公園の利用環境の向上	94,123千円 (20,000千円)
公園の利用環境の向上に必要な経費を計上	
・公園施設整備	
・公園・遊歩道等利用啓発事業の実施	

水道部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	204,621	249,180	44,559	21.78
水道事業 会計	3,302,271	3,415,066	112,795	3.42
下水道事業 会計	5,683,007	5,998,904	315,897	5.56

主な増減理由

・し尿処理管理運営業務の増	40,642千円
・宮導水路（若宮隧道）耐震対策事業の増	90,000千円
・上水道管理システムデータ整備事業（上水道GIS）の増	55,000千円
・資産の確定に伴う減価償却費の増	232,592千円

要求に関する基本方針

- 計画的な財政運営による上下水道事業の経営の安定化
- 安全安心な水を安定して供給するための施設整備
- 下水道施設整備及び水洗化の促進による生活環境の向上と公共用水域の水質保全
- 上下水道施設の防災対策の推進

要求のポイント

（ ）は前年度予算額

<利便性の高い都市機能とネットワークの構築>

- 施設の耐震化と遠方監視機能の推進

346,733千円
(440,863千円)

 - 安全・安心な水を安定して供給するための施設整備に必要な経費を計上
 - ・施設の耐震化整備、遠方監視装置整備 ほか

- 基幹管路の耐震化と老朽管布設替の推進

694,165千円
(515,308千円)

 - 安全安心な水を安定して供給するための施設改良に必要な経費を計上
 - ・基幹管路の耐震化整備
 - ・老朽管の布設替工事、道路改良に伴う布設替工事
 - ・上水道GIS整備

○配水施設整備（拡張）の推進 37,347千円
(37,333千円)

安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備に必要な経費を計上
・未給水地区の解消

○下水管きょ施設の整備、下水道施設の防災対策、処理区域の統合の推進
330,237千円
(291,754千円)

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るための管きょ施設整備に必要な経費を計上
・マンホール蓋、マンホールポンプの更新
・マンホールポンプ用非常用発電機の整備
・管きょ布設
・処理区域の統合

○下水処理施設の長寿命化 520,039千円
(557,998千円)

生活環境の向上及び公共用水域の水質保全を図るための下水処理施設整備に必要な経費を計上
・宮川終末処理場沈砂設備の長寿命化工事（継続費）
・宮川終末処理場中央監視設備長寿命化工事（継続費）
・宮川終末処理場水処理棟耐震診断業務
・処理場設備の長寿命化工事

会 計 室

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	1,825	1,833	8	0.44

要求に関する基本方針

- 合理的な会計事務の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 適正な会計事務の実施

1,833千円
(1,825千円)

効率的な出納事務遂行のための職員研修会の実施
公金管理の効率化
歳計現金の適正な管理

監 査 委 員 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	7,170	7,513	343	4.78

要求に関する基本方針

- 市民の視点に立った公平公正な監査等の充実

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 適正な行財政運営に資する監査等の実施

6,244千円
(5,950千円)

監査等の充実に必要な経費を計上

議 会 事 務 局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	33,493	31,590	△ 1,903	△ 5.68

主な増減理由

- ・ 議会改革に関するシンポジウムの開催による増
2,000千円
- ・ デンバー市姉妹都市提携60周年記念事業の減
△3,600千円

要求に関する基本方針

- 市民にとってわかりやすく開かれた議会運営

要求のポイント

() は前年度予算額

<着実な計画の推進>

- 開かれた議会運営

31,590千円
(33,493千円)

議会運営に必要な経費を計上

- ・ 議会・委員会等の中継
- ・ 議会広報紙の発行
- ・ 市民意見交換会（地域別・分野別）の開催
- ・ 議会改革に関するシンポジウムの開催

教育委員会事務局

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	2,654,149	2,705,762	51,613	1.94
学校給食費 特別会計	395,800	388,030	△7,770	△1.96

主な増減理由

- ・小中学校校舎大規模改修事業の減
△330,574千円
- ・教育系ICT機器活用等に関する経費の増
167,262千円
- ・高山市政記念館の耐震改修の増
118,519千円

要求に関する基本方針

- 教育の質や教育力の向上と地域全体による郷土教育の推進
- 時代の変化に対応した教育環境の整備
- 地域文化の継承や歴史的町並保存の推進

要求のポイント

() は前年度予算額

<夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み>

- 教育の充実
211,883千円
(210,018千円)

教育の充実に必要な経費を計上

- ・次期学習指導要領に添った学習の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・外国語教育の充実
- ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施
- ・中学校教科書改訂による指導書等の購入
- ・いじめ防止アドバイザーによる校内研修等の実施

- 教育環境の整備
370,667千円
(203,350千円)

教育環境の整備に必要な経費を計上

- ・教材備品の購入
- ・教育系ICT機器の活用
- ・校務支援システムの活用
- ・ICT支援員の配置

- 安全・安心・快適な学校施設等の整備 843,362千円
(1,134,870千円)
学校施設等の安全・安心・快適な環境整備に必要な経費を計上
・ 学校施設の長寿命化改修（江名子小・三枝小学校校舎、清見中屋内運動場）
・ スクールバスの更新
- 幼児教育、高等教育の充実 206,206千円
(206,630千円)
幼児教育、高等教育の充実に必要な経費を計上
・ 私立幼稚園における施設型給付費等の給付
・ 私立高等学校、短期大学等に対する助成
・ 高校通学等に対する助成
- 学校給食センターの運営 173,498千円
(164,279千円)
児童生徒の心身の健全な発達を図るために必要な給食運営経費を計上
・ 学校給食センターの運営
・ 学校給食費の保護者負担の軽減
- 魅力ある学校給食の提供 388,030千円
(395,800千円)
安全・安心で魅力ある学校給食の提供に必要な経費を計上
・ 献立の充実（アレルギー対応、地産地消等）

<歴史・伝統の保存、継承、活用>

- 地域文化継承への支援 4,460千円
(4,460千円)
地域の文化継承に必要な経費を計上
・ ユネスコ無形文化遺産等の継承支援
・ ふるさと伝承記録の整備
・ 伝承芸能保存団体に対する助成
- 歴史的町並み保存の推進 199,524千円
(80,750千円)
歴史的な町並み保存の推進に必要な経費を計上
・ 伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成
・ 伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成
・ 歴史的建造物群の耐震化対策
・ 高山市政記念館の耐震改修
- 歴史・文化活用の推進 104,815千円
(94,501千円)
歴史・文化を活用した地域づくりの推進に必要な経費を計上
・ 文化財施設（飛騨高山まちの博物館等）の維持管理

消 防 本 部

要求額

単位：千円、%

会計名	令和2年度 当初予算額	令和3年度 要求額	対前年度増減額	増減率
一般会計	757,592	875,038	117,446	15.50

主な増減理由

・ A E D屋外設置箱購入費の減	△ 37,762千円
・ 消防資器材整備事業の増	16,938千円
・ 消防水利施設整備・維持管理の増	19,036千円
・ 消防車両更新の増	92,958千円

要求に関する基本方針

- 市民の安心・安全を確保するための消防装備の充実強化
- 消防団員等の安全確保と消防団施設や資器材の整備による団活動の充実及び団員の士気高揚、団員の確保

要求のポイント

() は前年度予算額

<安全への備えと災害時の対応強化>

- 消防団活動の活性化 312,478千円
(283,091千円)
 - 消防団活動の充実に必要な経費を計上
 - ・ 消防団活動充実のための支援

- 消防施設の更新整備 17,253千円
(28,300千円)
 - 消防施設の更新整備に必要な経費を計上
 - ・ 消防団車庫の更新
 - ・ 消防署施設の改修

- 救急救命の推進 131,607千円
(169,369千円)
 - 救急救命体制の充実に図るために必要な経費を計上
 - ・ A E D機器の維持管理
 - ・ 消防緊急通信指令、消防救急デジタル無線の維持管理

○ 消防資器材の整備 35,048千円
(18,110千円)

防災体制の充実を図るための資器材の整備に必要な経費を計上
・ 消防資器材の購入

○ 水利施設の整備 55,176千円
(36,140千円)

防災体制の充実を図るための水利施設の整備に必要な経費を計上
・ 耐震性貯水槽の整備
・ 防火水槽、消火栓の維持管理

○ 消防車両の更新 263,958千円
(171,000千円)

消防車両の更新に必要な経費を計上
・ 常備消防車両
・ 消防団車両